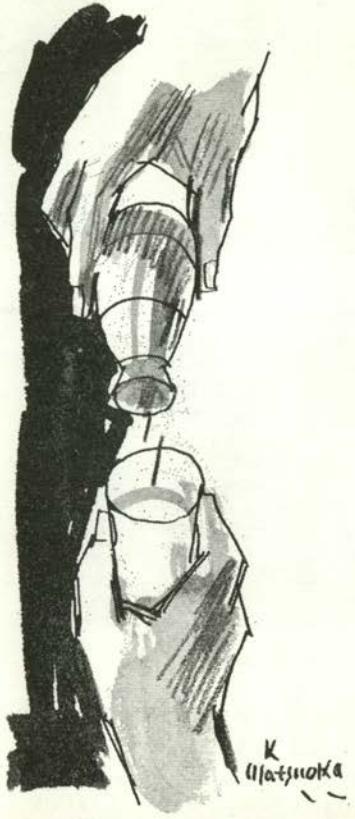
連載小説〈第二十三回〉

兵庫の女

武田繁太郎
え・松岡寛一



★あらすじ　まつをは十五才で広島の生家をとびだして鐘紡の女工となり、同じ職場で働いていた安福利市と結婚。共稼ぎのかたわら内職に精を出し、やがて呉服の店かたぢ屋をもった二人は順調な毎日をすごす。

結婚して二十年、あきらめていた子宝にも恵まれ、利市は「南栄商店連合会」の会長に選ばれた。

ちょうど年末の売出しに入った商店街を、南栄商事の創立準備のために東奔西走した利市は、年が明けた三日の夜から扁桃腺に見舞われ、続いて急性腎臓炎に襲われた。病状は一進一退を続けていたが、三月下旬のある日病状は急変し、楽しみにしていた良治の入学式も待たず、まつをの留守の間に、他界。生前の利市の人徳を慕って二百名にのぼる会葬者が本堂をうめた。ふた七日の夜の法要のあと、連合会の幹部である森川、市橋らは南栄商事の代表者にまつをを勧めるが、まつをは故人の夢を美しい夢のままそっとしておきたいと断る。全員賛成で南栄商事の設立が中止と決った時、まつをは良人の死後初めて他人の前で嗚咽するのだった。

南栄商事は、まつをの希望で、白紙解散ということになったが、かたぢ屋の店のほうは、利市のひと七日をすますと、さっそく、忌中でとじていた大戸をひらいていた。

「みんな気疲れしたやろ？　えらいご苦労さんやったなあ。けど、気をおとさんと、いままでどおりによう頑張ってや」

あすから店をひらくという前夜、まつをは、番頭や小僧たちを客間に集め、労らいと景気づけの酒席を設けて言った。

「男主人のおらん店は、やっぱり、あかんと、かりにも世間から後ろ指をさされるようになっては、亡くなった大将に申しわけがたたんさかいなあ」

「ようわかってます」

一番番頭の吉富というのが　いずまいをただして言った。

「お家はん。わしらもちからをあわせて、店をもりたてていく覚悟でおります。なあ、みんな、どうや？」

吉富の問いかけに、一座はいっせいにうなづきかえした。

「そうか。よう言うてくれた。これで大将も、安心して、いくところへいってくれてやろう」

はじめて「お家はん」と新しい名で呼ばれて、まつをも、しんみりとした口調で言った。

だが、翌日から店にでた彼女は、良人をなくした悲しみはおもてにはあらわさず、あいかわらず愛想よく客に応待していった。その姿からは、四十をすぎたばかりで寡婦になったなどというあわれさは、みじんも感じとることができなかった。むしろ彼女は、良人が生きていたときにもまして、さらに、活発な活動をはじめていった。

呉服屋仲間の寄り合いなども、いままでは利市がでていたのだが、良人の死後は、まつを自身が顔をだすようになった。寄り合いのあとは、たいていは酒の座になる。付きあいから、彼女も座をはずすわけにはいかなかった。いや。女だからという理由で、ひとり席をたつことは、勝気な彼女の気持ちが許さなかった。

「どうだす？よかったら、かたち屋はんもごいっしょしまへんか」

仲間たちが半ば義理で誘うと、まつをは、福原へでも柳原へでも、全然臆する素ぶりもみせずに、男だけの世界に行を倶にした。そして、手まわしよく、仲居や女中たちにそっと応分のチップをにぎらせていた。

「かたち屋はん。まあ、一杯」

と、だれかに盃をすすめられると、まつをは、これも臆せずにうけた。

だが、ここで、意外な光景が仲間たちの目を驚かせた。

「ほほオ。こらまた、みごとな呑みぶりやないか」

そんな感嘆の声が、一座のなかからもれたが、男たちを驚かせたまつを自身も、われながら意外でならなかった。

うまい！　酒というものが、これほど美味な飲物であったとは、いまのいままで想像もしていなかったのである。

「まあ、もう一杯」

「こら、わしも一杯酌させてもらお」

たちまち、一座から銚子が集中した。

「あかんあかん。そんなにいじめんといて」

まつをは悲鳴をあげながらも、片っ端から盃をうけていった。

だが、ここでなおいっそう、意外な光景が男たちをあわてさせた。

女だてらの、この呑みっぷりに、男たちは目をみはりながらも、だれもがからかい半分に酒をすすめていたのだが、しかし、いくらすすめても、まつをはけろりとしていた。わずかに、目のふちをぽっとさくら色に染めるだけで、むろん、正座した膝をくずそうとする気配さえもみせなかった。

「かたち屋はんの猫かぶりには、案定一杯喰わされてたなあ。こら大損こいたで」

「いやいや。お酒がこんなにおいしいもんやとは、自分でも知りまへんでしたわ」

「よう言わんわ」

だれももう、あいた口がふさがらぬといった面持ちだった。

だが、まつをには、生得の酒癖がひめられていたのであろう。偶然、酒席で知った酒の味が、彼女には忘れられなくなっていた。

いそがしい商売をおえて、さて、ほっとひと息ついて、夕食の膳にむかうと、彼女は、なんとなく晩酌の一本でもないと、食事をすませたような気分にはなれなくなっていた。

「思いきって、一本つけてみよかなあ」

ふと、そんな気をおこしても、彼女にはもう気がねをしなければならぬ相手もいなかった。

いつしか、彼女はひとり夕食の銚子を傾げるようになっていた。彼女が酒に親しむなど、かつての彼女からは想像もつかぬ道楽だといえたろう。だが、わずかな晩酌の酔いが、一日の商売の疲れを、ここちよく発散させてくれることを、彼女ははじめて知ったのである。その喜びは、金銭にはかえがたい魅力であった。

「今夜のお酒は、えろうおいしいなあ。もう一本つけてもらおか」

ごくりと喉を鳴らしながら、女中に追加を命じる夜がふえていったが、やがて、一本が二本になり、三本になり、またたくまに彼女の酒の手はあがっていった。

まつをは、台所の片隅にいつも真新しい菰かぶりをすえるようになっていた。瓶詰めなどでは間尺にあいかねるほど、酒量がふえていったからである。銘柄は、あれこれと呑みくらべてみて、いちばん口にあう辛口の菊正ときめていた。

客があると、昼間からでも酒をだした。むろん、自分も相手になった。腰をすえて呑みだせば、一升、二升と、いつまでもはてしがなかった。客しだいで、興に乗れば、ひと晩に四升、五升の酒を呑みきることも珍しくなかった。

「驚いたなあ。菰かぶりがひと月もたんやないか。そら、かたぢ屋の身代なら、酒ぐらいなんぼ呑んでも呑み尽せんやろけど、からだに毒やで」

紀州屋が呆れ顔で、小僧に新しい菰かぶりを運びこませていた。

だが、まつをは、どれほど呑んでも、寸分も狂うということがなかった。彼女は、更年期にはいってから、きゅうに十七貫を上まわるほどふとりだしていたが、そのからだで、呑みぶりも男のようにあらっぽかった。

「あたしは、チビチビと、盃を舐めるような真似は大きらいや」

そう言って、まつをは、いつもコップ酒を好んだ。熱燗をドクドクとコップに注ぎこみ、それを湯茶でも呑むようにあおるのであった。

かつての「三人組」のうち、亡夫の利市も紀州屋も、あまりいけるほうではなく、ひとり市橋だけが酒好きであった。彼もまた一升口である。市議連中のなかでも、彼の呑みぶりは群を抜いていた。まつをには、恰好の呑み相手であった。

祭りや正月休みなどには、まつをは、市橋を招いて呑みくらべをやった。それは、まことに奇抜な呑みくらべだった。

酒呑みには、肴はいらぬ。まつをは、食台にコップ一個をおいただけで、市橋と対座する。そして、菰かぶりから一升瓶にうつした酒を、コップになみなみとつぎ、

「さあ、どうぞ」
と、市橋にすすめる。
「いやあ、これはどうも」
一礼して、コップを持ちあげると、そのコップは、二度と食台のうえにおいてはならぬのである。おいたほうが負けであった。
まつをは、市橋がぐいぐいとコップの酒をほすのを、待ちかまえている。市橋がコップをからにすると、まつをはそのコップをじかにうけ、市橋に一升瓶の酒をつがせる。
「ああ、ええ色してる。黄金色や」
まつをは目をほそめ、自分からコップの端に口をよせて、そのまま、いっ気に呑みほし、そっと唇をぬぐいながら、
「さあ、どうぞ」
と、市橋にコップをかえす。
一升、二升は、またたくまであった。三升目ぐらいから、市橋の目がすわってきた。四升目になると、市橋の上半身がぐらぐらとゆれだし、正座できなくなった。
「まつをはん。もうあかん――」
「なにを言うとってのや。まだ序の口やないか。さあ、早うあけて」
まつをは追い討ちをかけるように一升瓶を持ちあげた。
「もうあかん。降参や。また負けたわい」
とうとう市橋は兜をぬいでしまった。
市橋は勝ったためしがなかった。
(なにを。相手はおなごや!)
と、闘志をふるいたたせて挑むのだが、そのたびに、彼はみじめな敗北を喫するのがおちであった。
二人の呑みくらべの最高記録は六升であった。このときは、市橋は玉砕し、人事不省に陥って、自宅に運びこまれてからも、丸一昼夜うなりどおしだったというが、まつをのほうは、あとで、近所の丸万うどん屋から、卵とじをとりよせて、悠々と食べていた。
もっとも、翌日、まつを自身も、卵とじを食べたことはおぼえていなかったというから、相当の激戦だったことは事実であった。
彼女の酒豪ぶりは、御崎界隈にも、呉服屋仲間にも、しだいにその名を売っていった。
やがて、利市の一周忌が訪れてきた。

〈次号につづく〉

＊ 神戸の催物ごあんない ＊

〈〈音楽〉〉
▷橋幸夫リサイタル
1月19日PM12：00　3：00　6：30　入場料金／A￥1,200　B￥900　主催／神戸新聞会館　於神戸国際会館
▷関西学院グリークラブリサイタル
1月20日PM6：30　入場料金／A￥400　B￥300　於神戸国際会館
▷兵庫女子短期大学コーラス部リサイタル
1月21日PM2：00　於神戸国際会館
▷江利チエミショー
1月24日PM6：00　会員券、神戸労音1月例会　主催／神戸労音　於神戸中央体育館

写真は唄う江利チエミ

▷谷バレエ団〝くるみ割り人形〟全幕公演　労音
1月26日PM6：30　神戸労音1月例会　会員券　主催／神戸労音　於神戸国際会館
〈〈演劇〉〉
▷文学座公演〝薔薇よりも孔雀だ〟　神戸労音1月例会
1月27日PM6：15　1月28日PM1：30　1月29日PM6：15　会員券　主催／神戸労演　於神戸国際会館
〈〈美術〉〉
▷初姿美人画展　寺島紫明と門下生
1月4日～9日　於そごう百貨店画廊
▷小松益喜油絵展
1月12日～17日於そごう百貨店画廊
〈〈新春の催し〉〉
▷恒例初笑い寄席名人会
1月1日～10日PM12：00　4：30　入場料金／指定席￥450　自由席￥300　主催／神戸国際会館　於神戸国際会館
▷神戸市成人お祝いの会
1月15日AM8：00開場9：00開演　於神戸市立中央体育館　大阪フィルハーモニー出演

愛読者サロン

ローマのベスタ寺院

★チャオ！神戸っ子のみなさんお元気ですか？ながらくごぶさたいたしております。もうローマはすっかり冬の様相を呈してきています。一頃の太陽の輝く空気の乾いた夏季と対照的に、目下梅雨期で、毎日ジメジメした日が続いていますが、イタリア女性のキリッと足首のしまった足にブーツがよく似合います。雨にも負けずピチピチチャプチャプランランと楽しそう。

そろそろ年の暮れ、人と車で大変な混雑ぶりですが、仕事の方はスムーズに運んでおります。巨匠マンズー氏、また、エミリオ・グレコ氏はまったく威張らない作家です。こんなところに親しみが感じられます。彼等とは毎週会っております。ではまたお知らせします。チャオ！

〈ローマにて・新谷秀紀〉

★私は一商社マンです。先日突然外国へ転勤の辞令が出て、その準備にあわただしい毎日ですが、いつも会社の応接室に置いてあって今までなじんでいた〝神戸っ子〟ともしばらくのお別れになると思うと残念です。しゃれた郷土誌として外国へも自慢できると思いますが、今度帰ってくるときにはもっといい雑誌になっていることを期待します。

（生田区・N）

発行にいろいろとお世話いただいた方がた

安木 青部 朝比奈 有岡田 浅野 荒木 砂部 乾尾 石崎 井野 石上 榎並 牛野 上文 岡野根 小曽部 小淵 大井 金納 嘉井 嘉崎 柏下 木

正夫 重雄 信隆 長平 豊道 信晃 成仁 左衛門 信彦 真一 伊都子 真朗 吉雄 将明 正一 元彦 ツトム 一六 正治 毅繁 健

小良平 小夫一 小雄一 上二 後藤 古賀 阪本 坂林 白泉 雀林 新磯 塩谷 砂川 角部 竹内 滝口 滝本 竹田 玉井 津田

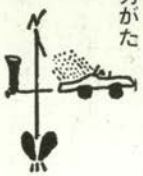
徳芳 喜末英秀 猛重義秀 昌干之介 虎勝清 孝寛 健一之 和操 準之助

楽 勝 渥 雄 孝 郁夫 次介 彦二一 郎 操一 助

外直 中 南 野 原畑 深 福 松 宮宮 村 百若 山行 神戸

口沢部 西木島 水 井冨 崎上地 畑 吉与 杉 青年会議所

太健一 幸圭 忠専泰 惣芳 辰高 裏辰正 二 泰哉 女弘 慧雄 郎二 雄男 美吉良 郎郎 郎三 勝郎 吉



編集後記

★あけましておめでとうございます今年もどうぞよろしくお願いいたします。

★きびしい世界情勢のなかで、日本は今年も戦争のない平和な春を迎えた。しかし、自由競争のはげしいなかで生きぬくためには、何をなすにしても〝個性ある生命〟が尊ばれる。神戸っ子も七年目の春を迎えて、個性ある都市雑誌としてミニコミのダークホースぶりを力一ぱい演じてみたい。（小泉康夫）

★神戸っ子も一九六八年を迎えて新企画が登場しました。読後感はいかがでしょうか。どしどし、皆さまのご意見をお寄せください。この一冊よりも、次号の一冊へ。少しずつ、牛歩のあゆみでも〝良い本づくり〟をしたいと思います。（小泉美喜子）

★締切日間近に〝ずれの痛みを感ず。そういえば今までをふり返ってみるに、うまく仕事がはかどってる時ほど、〝ずれのはげしかったことを思う。今月は、この〝ずれの何と遅かったことか……。

〈川端耿一〉

★新年を迎えた早々、一年半の間お世話になりました神戸っ子の読者の方ともお別れしなければなりません今までご指導、応援いただいた方々に心から、深く感謝いたします。

〈赤松慶三郎〉

★今月号は、最近のニューヨークのこと、変動するヨーロッパのことなど、海外の話で紙面がにぎわった。それにしても、ニューヨークやパリをごく身近に感じながら、この狭い日本を脱出できないディレンマにイラダッばかり！

〈土屋苑子〉

★今月から新しくリラックスインタビューが登場。第1回目は女子大生をゲストに迎えてのインタビュー。社会人となった現在の立場からみると、学生と社会人の意識の差といったものが随所に感じられた。

〈赤沢須美子〉

神戸っ子ごあんない

★月刊神戸っ子を毎月お読みになりたい皆さま、また神戸を離れているお友達に、神戸の香りをおとどけになりたい方は、編集室あてにお申込み下さい。さっそくお送りいたします。

6カ月分　六五〇円
1年分　一三〇〇円（送料共）

★月刊神戸っ子に紹介されている、神戸の銘店には、お客さまへのサービスとして神戸っ子がおかれています。

★月刊神戸っ子をお買い求めの時には左の本屋さんでどうぞ。

そごう書籍部　そごう八階
コーベブックス　さんちかタウン
大丸書籍部　神戸大丸五階
漢口堂三宮店　京町筋
流泉書房　センター街

千本書房　市電平野終点
流泉書房　センター街
文泉堂　国際会館1階
文洋堂　新聞会館1階
日東館　大丸前
海文堂　元町通3丁目
宝文館　元町通5丁目
甲南堂　国鉄本山駅北口
宝盛館　阪神御影南側
小原光文堂　国鉄住吉駅北口
隆司書房　新開地本通り

★月刊神戸っ子に広告を掲載して、お店を、また商品をご紹介なさりたい方は、月刊神戸っ子編集室へお申込みください。

★神戸百店会の事務局も月刊神戸っ子編集室内にあります。

神戸っ子NO・81
✻発行／昭和43年1月1日
✻編集・発行／小泉康夫
✻発行所・神戸っ子編集室
神戸市葺合区八幡通5ノ96
K・Eビル4階
Tel㉒7037㉒8072
頒価・100円

この腕を売る

結婚式をつくる

松下衛氏
〈オリエンタルホテル宴会課キャプテン〉

学生時代のアルバイトもホテルに絞ったほど、この仕事にことのほか熱心なのが彼である。

目下、婚礼宴会の受付で活躍中だが、人の結婚で忙しく自分のことは忘れてしまっているらしい。ほころぶ顔に童顔を残しながら「仕事がらアテられることが多くてネ」と頭をかく社内でも好評の独身者である。

入社して四年目、今では予約のお客を見て見合か恋愛か分るほど。

ソフトな声でお客の緊張心を柔らげ、落着いたところで、フロント育ちの持味を生かしながら懇切丁寧に相談するというのが彼の接客法であるらしい。

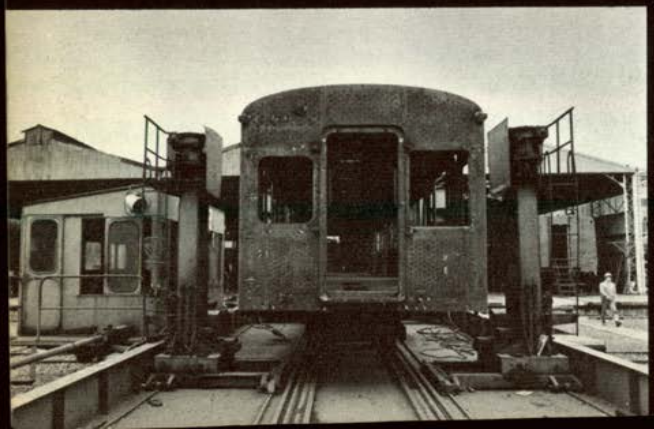
大安吉日に執着している若人が意外に多いのに驚いたそうだが、彼の説によると、むしろ他の日は空いているし、挙式者も楽だという。また披露宴のスピーチも短かい程良いとあくまで花嫁花婿をもりたてる好青年である。

★ダイナミック神戸★

〈川崎車輛の巻〉

★超特急の仕上を急ぐ工場内。スマートな車体がここからどんどん生まれてゆくのだ

★最後の仕上げ塗装場で、今韓国の石油タンク車の仕上げ。黒塗りに白の韓国文字が鮮やかだ。小林さんが訪れると皆は大変協力的で気持が良い。



★鉄骨の車体をこれから塗装場に入れてゆくところ。まだ未熟児の電車は静かに工場へ入れられてゆく。

〈本文29頁を参照下さい〉

★ここから夢の超特急や機関車、貨車、電車が生まれる。広い操車場で微笑むお嬢さんは、小林美智子さん(23)。会社の顔ともいうべき受付で五年。ベテランである。「何かを創り出す職場に」という念願が、このオフィスで花開いた。東京生れの神戸育ち。登山が趣味だという彼女は歯切れのよい標準語だが、あたりはぐっと優しい。硬派の会社だけれど、上田将雄社長をはじめ、職場の人、受付の女性まで人ざわりがソフト。柔軟性のある雰囲気が人間味のある暖かさを会社の中に感じる。

オフィスレディの悟味酒訪門〈3〉

ふぐ料理の妙味・てっちり

お店に入ってパッと目につくのが着物姿のウエイトレス。お店の民芸風な感じにピッタリで、とてもステキです。ふぐ料理はちょっぴり恐いような気がしていたけれど、いろんなお野菜と、最後に入れるおうどんに、適当にいいおだしが出ていておいしく、それにポン酢が関西人好みの味なのも気に入りました。

蕾 沙 知 子
〈トランス・メリディアン・ナビゲーション・カンパニー勤務〉

てっちり一人前 500円

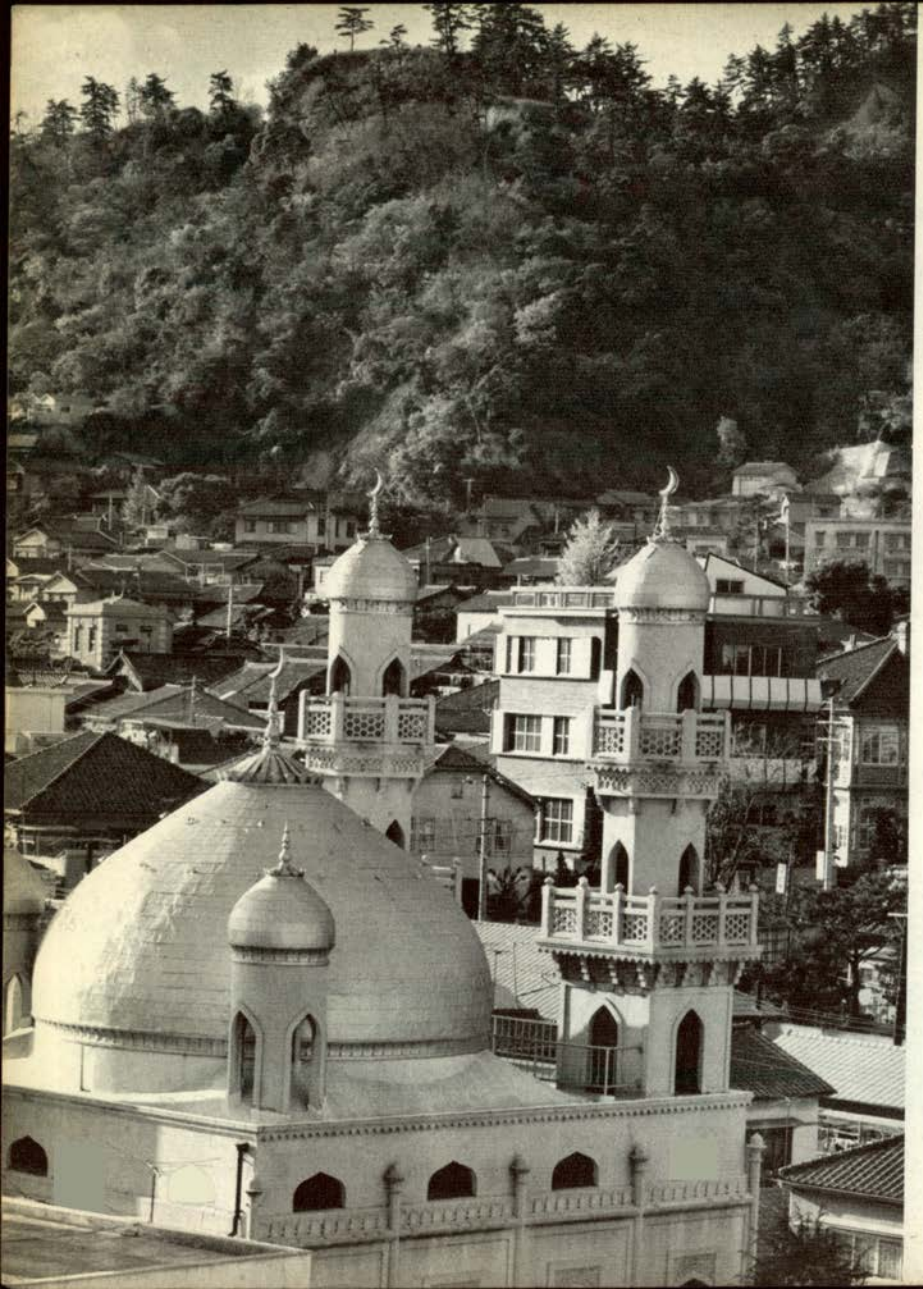
★姉妹店

お茶漬・おむすび・鍋もの
ふ る 里
生田前筋 〈33〉5535

お茶漬・おむすび・鍋もの
悟 味 酒
阪急西口 〈33〉3848

鍋もの 炉ばた
悟 味 酒
阪急西口 〈33〉3848
〈2階〉

さんちかタウン **悟味酒ちやんこ場** ／味ののれん街TEL. 神戸（39）5319



こうべろまん

〈1〉

回教寺院

文＝＝＝陳　舜臣
カメラ＝緒方しげを

神戸のまちで、緑濃い山と蒼い海のあいだに、回教寺院の銀色のドームがうかぶ。

お寺の円屋根は伏せた杯
そのなかに封じこめたひめごと
かぶせられたのは、はるかな沙漠からきた
イスラムノ秘儀か？　ひめごとはなんでもロマンチックだが、なにをいつまでもかくそうとするのか、銀色のドームよ。山も海もあけっぴろげのこのまちで。

ソ連領からの亡命トルコ人がおもになって寺を建てた。
生徒約十名の学校もあり、戦争中、トルコ語学習を口実に
私はよく訪ねた。ダシキさんという東京白百合高女出の、
ものすごい美人の先生がいたのだ。戦後トルコ共和国が彼
らをうけいれ、ほとんど帰国した。ダシキ先生去り、小さ
な学校も閉鎖された。

お寺通いは祈るためじゃない
いつか盗んだサダジャット（絨毯）
もういっぺんチャンスはあるまいか
それでこうしてお百度参り

――ルバイヤット

もちろん夢だ。
半月がいっぺんに
三つも空に出るなんてことがあるものか。さ、起きあがって、身すぎ世すぎの営みにとりかかろう。港から船の汽笛もきこえてくる。……
あおい大空という農園に
わたしは新月の鎌をみた
そして思い出したのだ
わたしの地上の農園と収穫の秋とを

——ハーフィズ

★★★

神戸百店会

Kobe High Class Shop Group

＊宝飾品 Jewel・Pearls

① 宝　飾　御木本真珠店　Mikimoto Pearls　国際会館1階 (22) 0062 International House

② 宝　飾　田崎真珠店　Tasaki Pearls　新聞会館秀品店 (22) 5646 Kobe Shinbun

③ 宝　飾　北村真珠店　Kitamura Pearls　元町通二丁目 (33) 0072 2-motomachi

④ 宝　飾　タジマ　Tajima Jewel　元町通二丁目 (33) 0387 2-motomachi

⑤ 時計と宝石　美田時計店　Mita Watch Shop　元町通三丁目 (33) 1798 3-motomachi

⑥ 宝　飾　神戸宝石　Kobe Jewel　トアロード (33) 2397 Tor Road

⑯ 真珠・毛皮 帽子婦人服飾　ムラタ　Pearl Fur & Ladies'　さんちかタウン (39) 3886～7 山本通4 (23) 1212～6

＊紳士洋服・洋品 Tailor & Men's Shop

⑦ 紳士服　柴田音吉洋服店　Tailor Sibata　元町通四丁目 (34) 0693 4-motomachi

⑧ ネクタイ　元町バザー　Motomachi Bazaar　元町通一丁目 (33) 1401 1,motomachi

⑨ 紳士服　三恵洋服店　Tailor Mitue　元町通四丁目 (34) 7290 4-motomachi

⑫ 男子洋品　フナキヤ　Funakiya　元町通三丁目 (33) 3617 3-motomachi

⑬ 紳士服　十字屋洋服店　Tailor Jujiya　元町通五丁目 (34) 2938 5-motomachi

⑭ 洋品雑貨　サノヘ　Sanohe　元町通二丁目 (33) 4707 2-motomachi

⑮ ワイシャツ　神戸シャツ　Kobe Shirt　大丸前 (23) 2168 In front of Daimaru

⑰ 紳士服　洋服の粋 渡辺　Watanabe　センター街 (33) 1650 Center-Gai

⑱ 衣生活品　ニッケショールーム　Nikke Showroom　元町通三丁目 (33) 0901 3-motomachi

⑲ 紳士服　神戸テーラー　Kobe Tailor　阪急西口・西7 (32) 2817 Hankyu west Exit

⑳ 若人の服飾　マック　Mac Men's Shop　三宮本店・トアロード店 新開地店・姫路店 Center-Gai・京都店

㉒ 紳士シャツ　大和屋のシャツ　Yamatoya Shirt　センター街 (33) 5956 Center-Gai

＊婦人洋装・洋品 Ladie's Shop

㉔ 帽　子　マキシン　Maxim　トアロード (33) 6711 Tor Road

㉕ 服飾雑貨　エスターニュートン　Esther Newton　トアロード (33) 1818 Tor Road

㉖ 洋　品　スギヤ　Sugiya　トアロード (33) 3436 Tor Road

㉗ ハンドバッグ ベビー用品 子供服　シラサ　Shirasa　元町通二丁目 (33) 0813 2-motomachi

㉘ 洋傘 ショール　ファミリア　Familiar　元町1丁目 (39) 5555 トア・ロードセンター街角

㉘ 洋傘 ショール　オカダ　Okada　元町通三丁目 (33) 0051 3-motomachi

㉚ 洋　装　マスヤ　Masuya　センター街、元町三 (32) 2781 3-motomachi

㉙ 婦人服飾　ベニヤ　Beniya　センター街・さんちかタウン (39) 5528～9・(39) 1204

㉛ 輸入服地　マルゼン　Maruzen　三宮一丁目53 (生田前筋) (39) 6901 Ikuta Street

㉝ 婦人・紳士服飾　セリザワ　Serizawa　センター街、大丸前 (39) 462 4 Center-Gai

㊱ 毛　皮　ベニー毛皮店　Bennie Furrier(Furs)　国際会館一階 (22) 3327 Kobe International House

＊装身具・服飾品 Accessary・Dress

㊲ べっ甲　太田べっ甲　Ota Co. (Tortoise-shell ware)　元町通一丁目 (33) 6195 1-motomachi

㊳ ハンドバッグ アクセサリー　イクシマヤ　Ikushimaya　元町通一丁目 (33) 2415 1-motomachi

㊴ アクセサリー　芸夢　Geimu　トアロード (33) 2293 Tor Road

㊵ 婦人・紳士靴 高級輸来雑貨　クロス靴店　Cross Shoes　トアロード (39) 1781 (代) Tor Road

㊽ 婦人・紳士靴　ヨシオカ　Yoshioka Shoes　大丸前 (23) 5190 In front of Daimaru

＊和装 Kimono. Geta

㊶ 呉　服　ちんがら屋　Chingaraya　センター街 (33) 2836 Center-Gai

㊷ 呉　服　みよしや　Miyosiya　大丸前 (23) 3838 In front of Daimaru

㊺ 衣　裳　中川衣裳店　Nakagawa　センター街 (33) 7524・5855 Center-Gai

㊻ 衣　裳　つるや衣裳店　Turuya　大丸前 (23) 0360 In front of Daimaru

＊美容 Beauty Shop

㊼ 美　容　美容室あきら　Akira Beauty Shop　三宮本通り (33) 4461 Sannomiya-Hontori

㊾ 美　容　マキシン美容室　Maxine Beauty Shop　三宮神社前 (23) 4917 Sanmiya-Jinja-Mae

㊿ コンタクトレンズ　国際コンタクトレンズ　International Contact lens Laboratory　国際会館一階 (22) 8161 Kobe International House

＊美術・工芸品 Art

㊶ 美　術　元町画廊・若木屋　Motomachi Gallery　元町通一丁目 (33) 2359 1-motmachi

㊷ 画材・額縁　末積製額　Suezumi　トアロード (33) 1309 Tor Road

㊸ 工芸 アクセサリー　磯川工芸店　Isokawa　トアロード (39) 3398 Tor Road

㊹ 美術陶磁器　淡洲堂　Tanshudo　センター街 (33) 1770 Center-Gai

㊺ 新古美術　播新　Harishin　元町通三丁目 (33) 2516 3-motomachi

＊家具 家庭・文化用品 Furniture・Family

㊼ 家　具　永田良介商店　Nagata Ryosuke Shop　大丸前 (39) 3737～9 In front of Daimaru

㊽ 運動用品　ヤノスポーツ　Yano Sports　トアロード (39) 1121～3 Tor Road

㊾ 玩　具　カメヤ　Kameya Toy Store　元町通三丁目 (34) 4969・0090 Center-Gai 3-motomaehi

㊿ メガネ　神戸眼鏡院　The Kobe Optical Co., Ltd　元町通三丁目 (32) 1212 3-motomachi

㊿ カメラ　コヤマカメラ　Koyama Camera Shop　センター街 (33) 0158 Center-Gai

㊿ 儀式用品 扇子　富田屋　Tomitaya　元町通四丁目 (34) 2334・6927 4-motomachi

㊿ カバン　大上鞄店　One Trunk Co.　元町通一丁目 (33) 3962 1-motomachi

㊿ カバン　高橋鞄本店　Takahashi　元町通三丁目 (33) 1172 3-motomachi

㊿ 電器製品　元町家庭電器販売KK　Motomachi Electric Co.,Ltd.　元町通六丁目 (35) 0081代 6-motomachi

㊿ 薬　品　三星堂薬局　Sanseido Pharmacy　元町通六丁目 (34) 0330・3355 6-motomachi

㊿ メガネ　服部メガネ店　Hattori Optical Shop　大丸前 (33) 1123 In front of Daimaru

㊿ 結納儀式用品　遠藤福寿堂　Endo Fukujudo　トア・ロード長田店 (39) 1871 (55) 2251～3 Tor-Road

＊ボーリング Bowling

㊽ ボーリング　神戸スターレーン　Kobe Starlane　市役所西側 (39) 4165 West City Hall

＊菓子・喫茶 Cake・Tea-room

㊾ 洋菓子 喫茶　風月堂　Fugetsudo　元町通三丁目 (39) 2412～5 3-motomachi

㊿ 瓦煎餅　亀井堂本家　Kameido Honke　トアロード (33) 1616・0001 Tor Road

㊶ 菓　子　雁治郎飴本舗　Ganjiroame Honpo　多聞通楠公前 (34) 1242 Tamon-Dori

㊸ 洋菓子 喫茶　ドンク　Donq　センター街 (39) 5481～3 Center-Gai

㊹ チョコレート　モロゾフ　Morozoff　元町通二丁目 (33) 3855 2-motomachi

㊺ ドイツ菓子 喫茶　ユーハイム　Juchheim's　生田神社前 (33) 1699 Ikuta Jinja Mae

㊻ 洋菓子　ヒロタ　Hirota Confectionery　元町通三丁目 (33) 2340 3-motomachi

㊼ 洋菓子 喫茶　ユーハイムコンフェクト　Yuhaimu Confect　生田前筋 (33) 0156 Ikuta street

㊽ 和菓子　二つ茶屋　Futatsuchaya　元町通三丁目 (34) 0755 3-motomachi

㊾ 菓　子　本高砂屋　Hon-Takasagoya　元町通三丁目 (33) 7367 3-motomachi

㊿ カステーラ　長崎堂本店　Nagasakido　元町通六丁目 (34) 4130 6-motomachi

㊿ 瓦煎餅　亀井堂総本店　Kameido Sohonten　元町通六丁目 (35) 0011～6 6-motomachi

㊿ 瓦煎餅　河南堂　Kanando　三宮駅山側 (33) 1061～3 St. Sannomiya-north

㊽ チョコレート　コスモポリタン　Cosmopolitan　三宮京町筋 (33) 1217 Kyomachi Street

㊿ 瓦煎餅　菊水総本店　Kikusui Sohonten　神公社正門前角 (35) 1801代表 In front of Nanko

㊹ 喫　茶　UCCウエシマコーヒショップ　さんちかタウン (39) 5677

㊸ 洋菓子　アルモンド　Almond　元町通二丁目 (33) 2203 2-motomachi

㊿ チョコレート キャンディ　コンチャロフ　Goncharoff　さんちかスイーツタウン (39) 3563

㊷ 和洋菓子 パーラー・レストラン　寿本舗　Kotobuki-Honpo　阪急三宮西口 (39) 8681 元町2丁目 (33) 1136

＊和洋料理 Eating House

㊺ 幔・日本料理　竹葉亭　Chikuyotei　阪急三宮 (33) 1120 Sannomiya Hankyu

㊻ 天婦羅　お可川　Okagawa　元町通三丁目 (33) 6154 3-motomachi

㊼ ふぐ料理 たい料理　一富士　Ichifuji　(東川トンネル東) (52) 5566 Minatogawa

㊽ 寿　司　本成駒家　Hon-Narikomaya　三宮本通り (33) 3236 Sannomiya hondori

㊾ とんかつ　武蔵　Musasi　センター街 (33) 3771 Center-Gai

㊿ スペイン料理　カルメン　Carmen　阪急西口上 (33) 2228 Hankiyu west Exit

㊶ 欧風料理　ハナワグリル　Hanawa Grill　元町通五丁目 (34) 6942 5-motomachi

㊷ ビヤ・ホール　ニュー・トーキョー　New Tokyo　生田柳筋 (33) 1422 Ikuta Yanagi Street

㊸ 海川魚 御料理　時雨茶屋　Shigure Jaya　元町3丁目 (33) 0070・(33) 1060 3-motomachi

㊹ 軒　料　理　鮪の壺　Takonotsubo　大丸前日東館北 (39) 1033 1-motomachi

㊺ レストラン　コラルキタノ　Coral Kitano　北野クラブ陣上 (23) 2251 1-Kitano-Cho

㊿ レストラン　ブランドゥブラン　Blanc de Blanc　京町77－1 (32) 1455 77－1 Kyomachi

㊺ ふぐ 天ぷら・寿司　栄弥　Sakaeya　大丸前・三宮神社東 (33) 5772・5674 2-Sannomiya

㊼ 寿　司　又平　Matahei　生田神社前 (33) 0935 Ikuta Street

㊽ 神戸肉　大井肉店　Ooi Beef Shop　一ノ通七丁目 (34) 1046・4780 6-motomachi

㊿ ビヤレストラン　ニューオリエント　三宮ビル地下 (22) 3124

＊クラブ・料亭 Night Club

㊽ 料　亭　松乃家　Matsu no ya　花隈 (34) 2785・6788 Hanakuma

㊾ ナイトクラブ　北野クラブ　The Kitano Club　北野町 (23) 2251 Kitano-Cho

㊿ クラブ　くらぶ花くま　Club Hanakuma　花隈 (34) 5129 Hanakuma

＊ホテル Hotel

㊶ ホテル　神戸オリエンタルホテル　Oriental Hotel　京町25 (33) 8111 25-Kyomachi

㊷ ホテル　六甲オリエンタルホテル　Hotel Rokko Oriental　六甲山 (89) 0333～4 Mt. Rokko

㊹ 観光旅館　有馬温泉 (東有馬) 古泉閣　Kosenkaku　神戸 (99) 0731 Arima

＊商　社 Trading House

㊾ ビール　朝日麦酒K.K　Asahi Beer　相生町 (34) 7301 Aioi-Cho

㊿ 電化製品　ナショナル電化センター　National Electric Center　京町筋 (39) 8011 Kyomachi-Suji

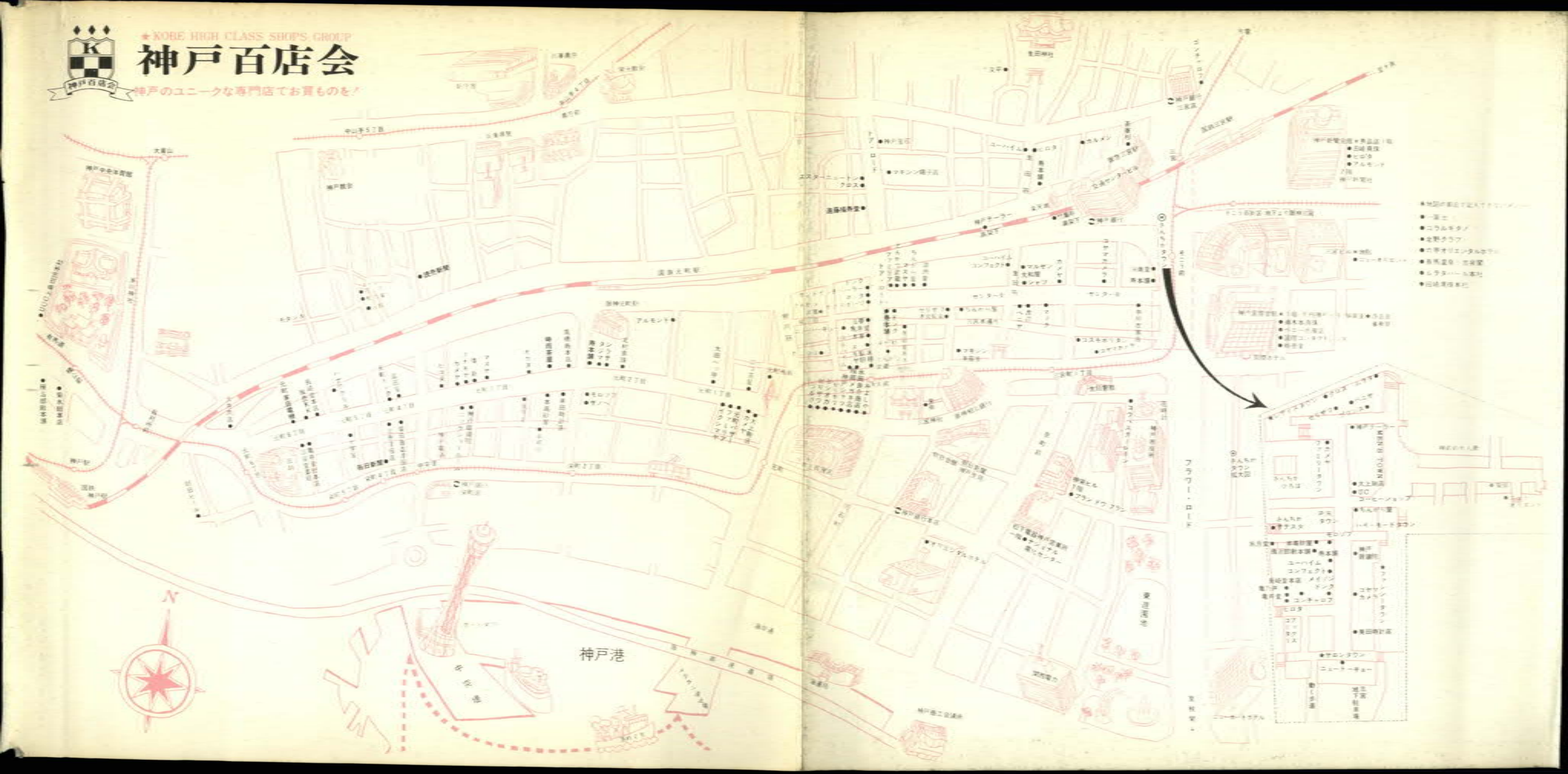
㊼ 銀　行　神戸銀行　Bank of Kobe　本店 生田区浪花町 (33) 8101代表 Naniwa-Cho

㊽ 珈琲・紅茶 直輸入　UCC上島珈琲本社　神戸駅前 (34) 3600

★KOBE HIGH CLASS SHOPS GROUP

神戸百店会

神戸のユニークな専門店でお買いものを！



あけまして
おめでとう
ございます

神戸銀行

東宝・内藤洋子

★百店会でのお買物は神戸銀行ホームチェックをご利用ください

昭和四十年一月二十日　発行所／神戸市葺合区八幡通五丁目九六（市役所前）　K・Eビル四階　TEL㉒七〇三七　頒価一〇〇円
第三種郵便物認可　昭和四十三年一月一日発行　毎月一回　大日本印刷株式会社印刷　編集発行／小泉康夫（送料12円）

●〈故障がない〉高性能・2台目テレビの決定版！

ナショナル人工頭脳テレビ 黄金シリーズ

NATIONAL GOLDEN CHASSIS
黄金回路

黄金の―と名付けられるその秘密は
見やすく、寿命の長い明視ブラウン管
最高級部品による黄金回路
安定した画面へ便利な人工頭脳
使いやすい付属品もいろいろ

19形／96G《嵯峨》
現金正価 72,500円
月賦定価（15回） 79,400円

- いちだんと性能アップした故障がない高性能
- 低音の魅力を倍加、すばらしいハイファイ音
- 明るく見やすいチャンネル表示〈フラッシュインジケータ〉
- 調整の手間をはぶいた〈人工頭脳〉つき
- 内蔵用UHFコンバータ、新設計のリモコンの取りつけできます。イヤホーン・脚つき

ナショナル
松下電器